

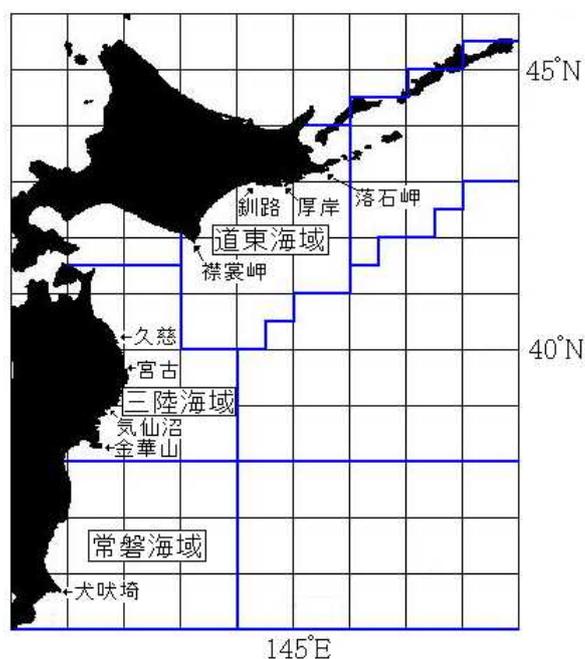
2021年度 第6回サンマ中短期漁況予報

－ 別表の水産関係機関が検討し一般社団法人漁業情報サービスセンターがとりまとめた結果 －

今後の見通し(2021年11月上旬～12月中旬)のポイント

来遊量

- ・道東海域では、11月上旬は断続的な来遊で、終漁となる。
- ・三陸海域では、11月上旬は断続的な来遊量がある。
- ・常磐海域では、11月中旬になると断続的な来遊がある。



海域の名称

問い合わせ先

一般社団法人漁業情報サービスセンター 水産情報部
担当：渡邊、藤井
電話：03-5547-6889、ファックス：03-5547-6881
当資料のホームページ掲載先URL
<http://www.jafic.or.jp/information/category/news/>

2021年度 第6回サンマ中短期漁況予報

1. 今後の見通し

予測期間：2021年11月上旬から12月中旬までの旬別

対象海域：道東海域、三陸海域、常磐海域

対象漁業：さんま棒受網漁業

対象魚群：南下回遊群

1) 道東海域

(1) 来遊量

11月上旬は、低位水準で断続的な来遊となる。11月上旬で終漁となる。魚群の多くは、道東海域よりも東～南側を南下する。

(2) 漁場

11月上旬は、襟裳岬沖の沿岸から離れた沖合に、断続的に漁場が形成される。

2) 三陸海域

(1) 来遊量

11月上旬は低位水準で断続的な来遊となる。11月中旬～12月上旬は、低位水準で推移する。12月中旬は、断続的な来遊量となる。来遊量は、前年同様少ない。

(2) 漁場

11月上旬は、三陸海域に漁場が形成される可能性があるが、漁場は三陸沿岸から離れた沖合となる。11月中旬～12月中旬は、三陸南部に漁場が形成される。

3) 常磐海域

(1) 来遊量

11月上旬は、来遊は無い。11月中旬は断続的な来遊があり、11月下旬～12月上旬は低位水準で推移する。12月中旬は、断続的な来遊量となる。

(2) 漁場

11月上旬は、漁場は形成されない。11月中旬～12月中旬は、常磐北部に漁場が形成される。

2. 予測の概要

海 域		11月上旬	11月中旬	11月下旬	12月上旬	12月中旬
道東海域	来遊量	— →				
	動向	断続的				
	漁 場	襟裳岬沖				
三陸海域	来遊量	— →	————→	————→	————→	————→
	動向	断続的	低位水準	低位水準	低位水準	断続的
	漁 場	三陸沖合	三陸南部	三陸南部	三陸南部	三陸南部
常磐海域	来遊量		— →	————→	————→	————→
	動向		断続的	低位水準	低位水準	断続的
	漁 場		常磐北部	常磐北部	常磐北部	常磐北部

3. 漁況の経過概要（10月中旬）

1) 道東海域

(1) 来遊量

今年は、前年同様、道東海域に漁場は形成されず、道東海域における来遊量は極めて少ない。

主漁場は、道東海域より東側の公海であったが、道東海域より南南東側の落石南南東200海里にも漁場が形成された。漁獲量は10月上旬よりもやや増加したものの、CPUE（1網あたりの漁獲量）は10月上旬を下回り、前年も下回った。これらのことから、魚群は道東海域よりもさらに沖合に分布しており、一部の魚群は道東海域の南南東側に分布している状況であるが、分布量はかなり少ない状況である。

(2) 漁場

道東海域に漁場は形成されなかった。主漁場は道東海域より東側の公海である落石東南東240～290海里、落石東450～480海里であった。また落石東南東沖の花咲港より1日程度の場所、道東海域より南南東側の落石南南東200海里にも一時的に漁場が形成された。

落石東南東240～290海里の漁場水温11～16℃では、大型船数隻～40隻程度と小型船が操業。大型船で最高23トン、平均5.9トン漁獲した。

落石東450～480海里の漁場水温12～14℃では、大型船10～15隻程度操業。大型船で最高16トン、平均2.6トン漁獲した。

落石東南東沖の花咲港より1日程度の場所の漁場水温11～13℃では、10月13～14日夜に大型船で操業した船があったが、漁獲は少なかった。

落石南南東200海里の漁場水温15℃では、10月14日夜に大型船数隻と小型船数隻操業。大型船で0.1～0.2トン程度しか漁獲できなかった。

(3) 魚体

道東海域よりも東側では、体長29～30cmモードであった。体重は110～130g台が主体あった。漁獲物によっては、体長25cmモード、体重は60～70g台が混じた。

2) 三陸海域

(1) 来遊量

今年は、前年同様、三陸海域に漁場は形成されず、三陸海域における来遊量は極めて少ない。

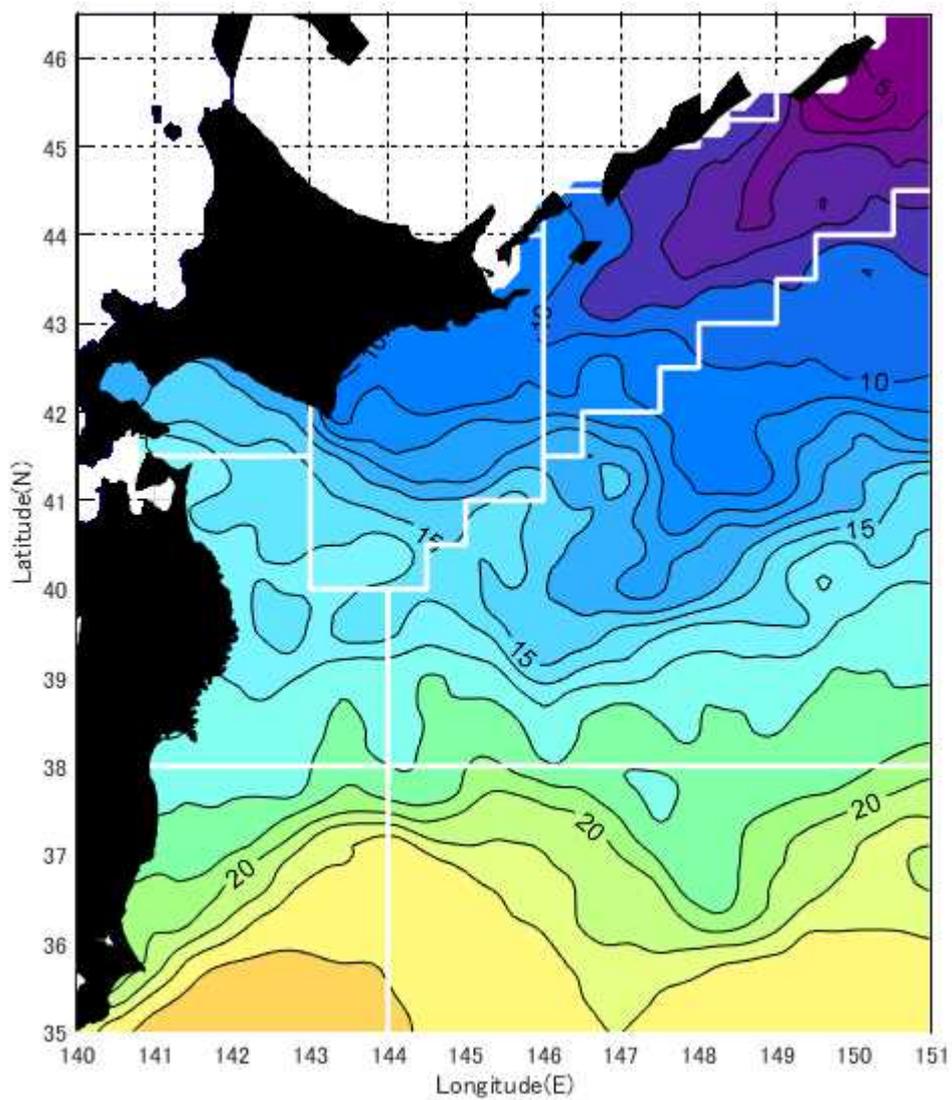
三陸海域の東側である久慈東190海里には、一時的に漁場が形成された。

(2) 漁場

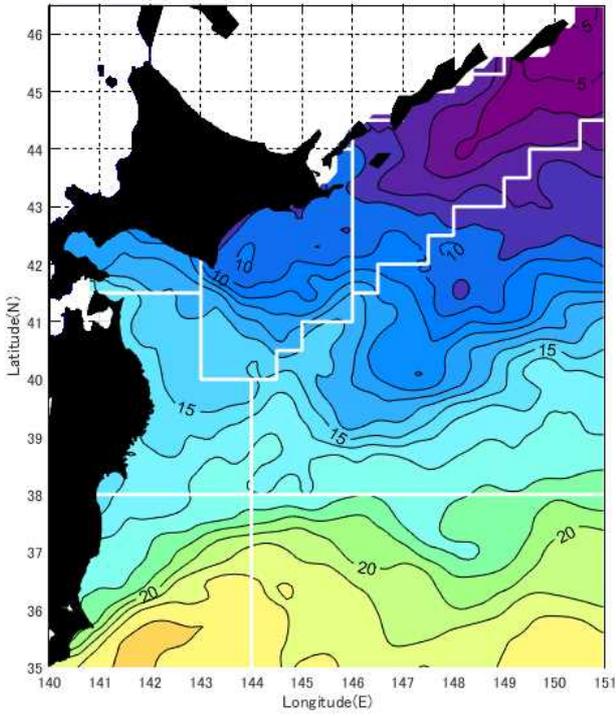
三陸海域に漁場は形成されなかった。三陸海域の東側である久慈東190海里の漁場水温17℃では、10月18日夜に大型船数隻と小型船が操業。大型船で最高1.2トン漁獲した。

4. 予測水温分布図

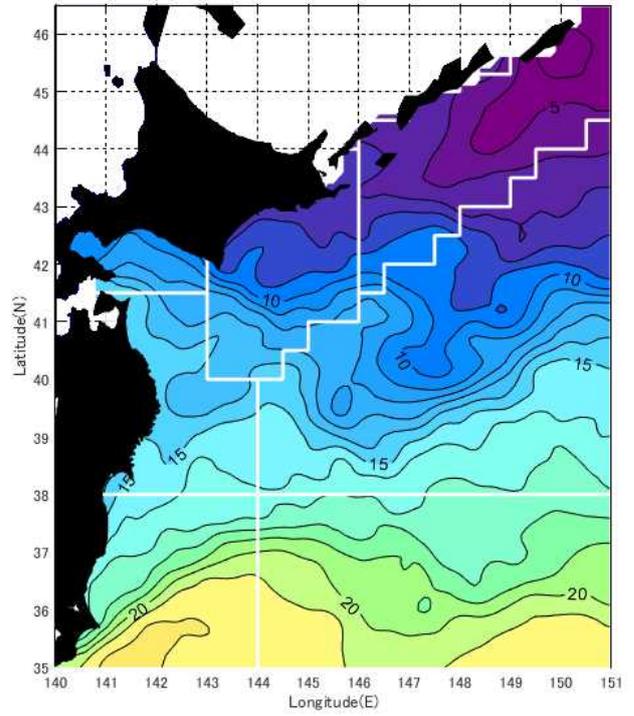
11月上旬予測表面水温分布図



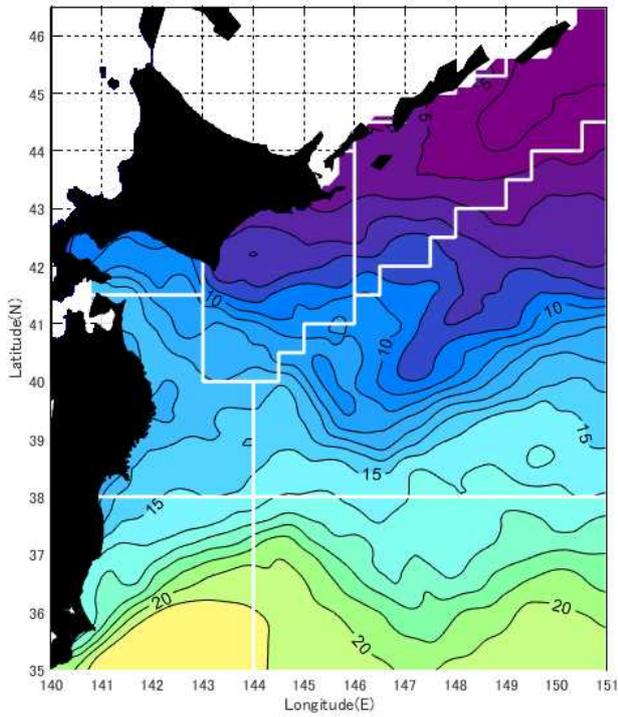
11月中旬予測表面水温分布図



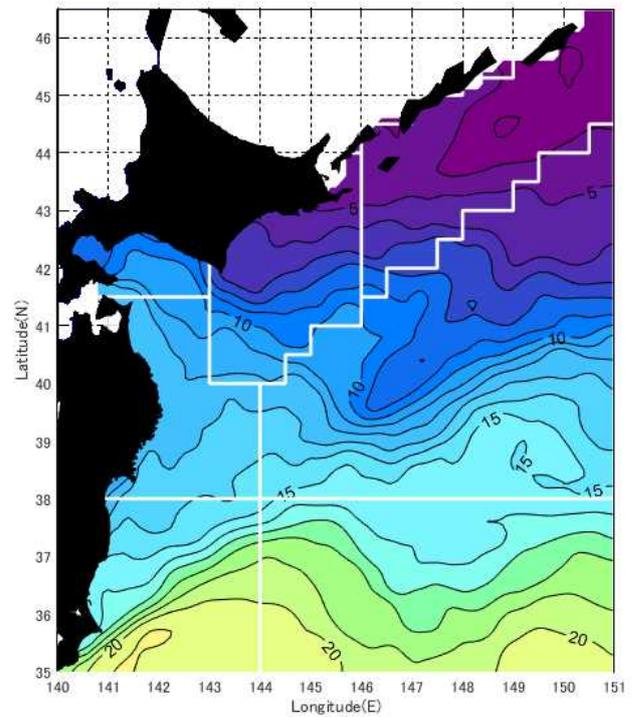
11月下旬予測表面水温分布図



12月上旬予測表面水温分布図



12月中旬予測表面水温分布図



参 画 機 関

<p>地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 水産研究本部 釧路水産試験場</p> <p>岩手県水産技術センター</p> <p>宮城県水産技術総合センター</p> <p>福島県水産海洋研究センター</p>	<p>茨城県水産試験場</p> <p>千葉県水産総合研究センター</p> <p>国立研究開発法人 水産研究・教育機構 水産資源研究所</p> <p>(取りまとめ機関) 一般社団法人 漁業情報サービスセンター</p>
--	---